

ぴらぞ・朝日

PLAZA・ASAHI

2019
August

VOL.32

発行日/2019年8月1日
企画編集/広報委員会



看護の心を
みんなの心に

CONTENT

巻頭特集 老化について

PICK UP

医療機器紹介

新入職員の声

患者サポートセンターご案内

TOPICS

欧州放射線治療学会「ESTRO38」で研究成果を発表 !!

看護部による健康増進イベントを実施 ほか

医食同源 葉酸で脳イキイキに!

INFORMATION 糖尿病教室のご案内 ほか



副病院長
整形外科診療部長
日下 義章

老化について

老化とは加齢に伴う身体機能の低下を意味します。私も髪の毛が白く少なくなりました。視力の低下に加えあちこち痛いところも出てきて、老化を認めざるを得ない状況に陥っています。

紀元前の中国における秦の始皇帝が「不老不死の薬」を求めて各地の役人に探させたのは有名な話です。最終的に始皇帝は有毒の水銀化合物を不老不死の薬と信じて服用し、亡くなったという話が史書に遺されています。科学技術が進んだ現代において「不老不死の薬なんて」と思われる方も多いでしょうが、この願望は人類永遠のものであることは間違いありません。「アンチエイジング」と言うカタカナに名前を変えて今

も生き続けています。むしろ、科学技術が進んだ現在だからこそ自分はその恩恵に預かれるのではないかと期待する人も多いのではないのでしょうか。

医療の現場では小児科を除くほとんどすべての診療科で、老化に伴う疾患が治療対象となります。私が専門とする整形外科はその最たる診療科の一つであり、関節が痛くて歩けない人、手足がしびれて動かしにくい人や歩きにくい人、そして骨折し寝込んでしまった人などを毎日のように治療しています。冗談ですが、不老不死の薬が本当にできたら私は大変暇になってむしろ困ってしまいます。

整形外科における老化の基本的な要因は大きく分けて3つあります。

1つ目は加齢による軟骨の劣化です。軟骨は関節のスムーズな運動を可能にするとともに運動に伴う衝撃を吸収するクッションのような働きを持っています。脊椎の骨の間にある椎間板軟骨は体幹部の柔軟な運動を可能にし、体幹部に加わる衝撃を緩和します。加齢により関節軟骨や椎間板軟骨が傷むと体の柔軟性が失われ、関節痛や頸部痛、腰痛の原因となります。脊椎には脊柱管という管状の構造があり、脳から出てくる神経を通して四肢体幹の運動を可能にします。脊柱管は椎間板や椎間関節の老化により狭くなり、手足のしびれや神経痛、運動障害の原因となります。

2つ目は加齢に伴う筋力の低下です。これはサルコペニアと言われ、筋肉量は20歳代に頂点となり、何もしなければ毎年1%ずつ低下し、60歳代では60%に、70歳代では50%にまで減少することが知られています。筋肉量の減少は関節や体幹を不安定にし、関節痛や腰痛を引き起こすと同時に、転倒リスクも増加させます。また、筋肉量が減少すると基礎代謝量が低下するため、高齢になって若い時と同じような食生活をしていれば、基礎代謝が減った分の体重は増加することになります。中高齢者の肥満の大きな原因はここにあります。体を支えるという意味で体重の増加とサルコペニアは相反する方向に向かう現象であり、運動機能が低下する大きな要因といえます。



3つ目は骨粗鬆症です。骨粗鬆症では骨の密度が低下して力学的に弱くなり骨が折れやすくなります。特に女性の骨粗鬆症は重症化しやすい傾向があります。股関節の周囲の骨折や脊椎の圧迫骨折、肩関節の骨折、そして手首の骨折は骨粗鬆症が原因で起こる代表的な骨折です。背骨の圧迫骨折が多発すると背中が丸くなり歩行が不安定になります。骨折部位が股関節周囲の場合、高齢者は臥床を余儀なくされて認知症を発症しやすくなります。サルコペニアにより筋肉量が減少した高齢者は臥床により更に筋力が低下し、再び歩行能力を獲得することが極めて困難となります。

ここで紹介した3つの問題点の中で、サルコペニアは運動することによりある程度防ぐことが可能です。骨粗鬆症は多くの薬剤の開発により予防や治療ができるようになってきました。ついに念願の薬が登場したのかもしれませんが。関節軟骨や椎間板の軟骨の劣化に関しては、グルコサミンやコンドロイチンなどサプリメントのCMが巷にあふれています。グルコサミンやコンドロイチンは軟骨の主成分であり、軟骨内でこれらの成分が増加すれば、確かに軟骨は若返ります。問題は経口的に内服したこれらのサプリメントが、ちゃんと軟骨の組織に届いて成分として利用されるかどうかです。残念ながら信頼できる学術論文では、サプリメントに効果はないとされています。やはり軟骨の大敵は体重です。サプリメントに頼らずコツコツとダイエットすること、そして筋肉を鍛えることが重要です。

病院の理念

地域の中核病院として、安全で質の高い医療を提供し社会に貢献します。

病院の方針

1. 患者さんの人格、権利、プライバシーを尊重し、患者さんの立場に立ったチーム医療を行います。
2. 患者さんのために医学的根拠にもとづいた医療を実践します。
3. 安全・高度・安心な医療を医科及び歯科が連携して行ないます。
4. 救急医療の充実に努めます。
5. 予防医学の推進により生活習慣病の予防に努めます。
6. 十分なインフォームドコンセントのうえ、医療を実践します。
7. 全人的な医療を行うため、全職員の力を結集します。
8. 思いやりの心と敬意を持って接します。
9. 地域における医療・福祉との連携を推進します。
10. 病院内外の医療・福祉関係者に対して教育・研修の場を提供します。
11. 全職員が誇りを持って働ける職場づくりに努めます。
12. これらのために健全な経営に努めます。

新任の

ご挨拶

greeting

眼科診療部長

佐本 大輔

2019年4月1日就任



4月に当院の眼科診療部長に就任しました。

人間は、情報の8割近くを眼から取り入れているといわれております。それゆえ生活における小さな変化でも、特に気になってしまうのが眼科という分野の特徴であると思います。実際に診療をしている

と、「見えにくい気がする」、「黒いものが見える気がする」、「何か目に入っている気がする」など、ちょっとした違和感が多く、患者さんの不安や苦勞の原因となっていることが多いのを感じます。当院の眼科では、そんなちょっとした悩みや不安にしっかりと寄り添う診療を行うことを心掛けております。

また、自覚症状に乏しくても重症疾患が潜んでいる場合もあります。現代は、糖尿病など生活習慣病を抱える方が多いといわれておりますが、視機能に影響を与える疾患も少なくありません。外来での治療だけでなく手術が必要になるケースも多数ありますので、適切な治療を適切な時期に行わなければなりません。そのため今年度から手術日を週1日から3日に増やすなど、体制の充実を図りました。

今後はこれまで以上に努力を重ね、微力ながら地域住民の皆様にご貢献できるよう邁進する所存です。

以上、簡単ではありますが、新任のご挨拶とさせていただきます。ご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

よろしく
お願いします



消化器内科

さかもと なおゆき
教授 坂元 直行

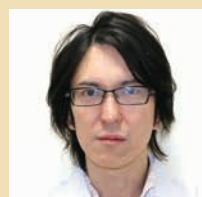
着任 2019年4月1日



整形外科

ほしの ゆうし
准教授 星野 雄志

着任 2019年4月1日



眼科

さもと だいすけ
講師 佐本 大輔

着任 2019年4月1日



歯科口腔外科

えはら ゆういち
講師 江原 雄一

着任 2019年4月1日

看護部長
田垣 春美

2019年4月1日就任



本年度から朝日大学病院に赴任し看護部長を拝命いたしました。ここには家族が通院などでお世話になっており、とても身近に感じていましたが、まさか自分が看護部長として赴任することになるうとは思っていませんでした。このご縁に感謝するとともに、地域の皆様に身近で頼りになる病院として親しんでいただけるよう努力を重ねたいと考えております。

さて、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行する日本の医療は、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの推進に大きくかじを切りました。岐阜市でも地域医療連携のシステム作りが活発に行われています。病気を得ても住み慣れた地域で暮らし続けられる「ときどき入院、ほぼ在宅」という言葉がいつしか聞き慣れた言葉になってくると同時に、看護師の役割は、ますます重要になっています。

当院は健診センター、急性期病棟、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟を有し、予防から急性期医療、在宅支援までシームレスに提供することで、患者さんが、住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けていけるよう支援をさせていただいております。

看護部の理念「あらゆる健康レベルの患者さまに安全で信頼される看護を提供する。」は、この病院が持つ機能を十分に発揮することで具現化できると確信しています。患者さんに寄り添いながら、多くの職種と協力し合い、様々なことに取り組んでまいりたいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



歯科口腔外科

まつばら まこと
講師 松原 誠

着任 2019年4月1日



消化器内科

むかい りえこ
医師 向井 理英子

着任 2019年4月1日



脳神経外科

ささき のぞみ
医師 佐々木 望

着任 2019年4月1日



歯科口腔外科

いわさき たかひろ
歯科医師 岩崎 理浩

着任 2019年4月1日



歯科口腔外科

うかい あきら
歯科医師 鵜飼 哲

着任 2019年4月1日

最新のガンマカメラ装置を導入！

核医学検査はごく微量の放射線を放出するアイソトープ(RI)検査薬を投与し、体から放出される放射線の分布を画像にする検査です。脳、心臓、肺臓、腎臓、骨など特定の臓器や腫瘍等に集まるアイソトープ(RI)検査薬を目的に合わせて選択し、核医学診断装置「ガンマカメラ」で撮像します。

骨、腫瘍の検査では全身の撮影を行い、脳、心臓の検査では断層画像にするイメージング像(SPECT)も使

用しています。また、ガンマカメラで得られた情報をコンピュータ解析することにより、臓器の詳細なデータを得ることもできます。

今回、当院が導入したのはGEヘルスケア・ジャパン株式会社製のdiscovery NM830という機種です。他院に先駆けて導入した最新機種であり、ハイスペック化やCTとの画像融合技術の獲得により検査の能力と精度が格段に向上したほか、検査時間も短くなりました。



臨床検査技師（臨床検査室）

毛利 なつめ（2019年4月1日入職）

Natsume Mori

関市にある岐阜医療科学大学を3月に卒業後、4月から朝日大学病院の臨床検査部の生理検査部門で、心電図、肺機能、動脈硬化の検査や採血検査などの業務に従事しています。今は勉強不足を感じることはばかりで、これから身に付けていかなければならないことが沢山あると感じています。

生理検査部門の仕事では、患者さん一人ひとりに合った対応が求められます。患者さんの体調などによっては、検査が苦しく感じたり痛みを伴うこともあるため、常に表情や反応をみながら、気持ちが少しでも和らぐよう、声を掛けたり、会話をすることを心掛けています。さ



らに私たちの仕事は検査だけでなく、例えば患者さんの安全な移動のための介助など、すべきことは様々であることも分かりました。このように、実際の医療現場だからこそ学べるのが沢山あるので、先輩方の動きをよく見て、吸収していこうと思います。そして、学んだことを大切に、1日でも早く先輩方のような状況に合った対応ができるよう研鑽を積んでいきたいです。また、検査に手間取ったり、失敗して落ち込むこともありますが、なぜ失敗したのかをよく考え、失敗を繰り返さないようにする勉強を続けていきたいです。

なお、私がこの病院で働くことを希望したのは、大学4年次の臨地実習でお世話になったときでした。検査室の雰囲気がよかったことや、患者さんへの温かみのある対応ぶり、また、強い責任感を持って仕事に取り組まれている様子を見て、自分もここで働き、勉強していきたいと思いました。患者さんからも、この人たちは思いやりがあるとされたことが心に残っています。今は私も、その一員として、先輩方のように、まずは笑顔であいさつをすることを心掛けています。

仕事をしていて一番嬉しいのは、やはり患者さんからの「ありがとう!」という言葉や笑顔です。このことを励みにこれからも頑張っていきたいです。

理学療法士（回復期リハビリテーション病棟）

渡邊 和輝（2019年4月1日入職）

*Kazuki Watanabe*

今年4月に理学療法士として入職し、西館4階の回復期リハビリテーション病棟に配属されました。

この病棟で私たち理学療法士は、脳血管疾患や大腿骨頸部骨折などで身体機能が低下した患者さんに対して、寝たぎりの防止と家庭復帰、職場復帰までを見据えた日常生活動作の能力向上のためのリハビリテーションを行っています。その内容は、マット、ベンチ、平行棒などの器具を使った運動療法や廊下、階段を歩行する訓練など様々です。

私は高校時代までは介護福祉士になるための勉強をしていましたが、実習で、動作や運動の専門家として医学面から患者さんをサポートする理学療法士の仕事を見たことがきっかけで、理学療法士の道を選びました。



この病院を志望したのは、外来から一般病棟、回復期病棟及び地域包括ケア病棟まで有し、病期を通して一貫したリハビリテーションを行っており、幅広く多くのことを学ぶこと、また、「病気だけでなく人を診る」という理念に共感したためです。

いざ現場に就くと、実習とは違い、常に自分で考えて動かなければなりません。最初は何をしてよいかも分からず、戸惑う毎日でした。自分なりに一生懸命やりつつも自信を失いかけていた頃、初めて担当させていただいた患者さんの退院を迎えました。最初は私の覚束なさに不安を感じていらっやったのですが、最後には「担当があなたでよかった。」と仰ってくださいました。忘れられないほど嬉しく、大きな自信になりました。また、先輩方からの声掛けやアドバイスのお陰で、徐々に落ち着いて仕事に取り組めるようになり、仕事の改善について考える余裕もできてきました。

最初の4か月はあっという間でした。知識面でも技術面でも学ばなければならないことが山ほどあるので、今の気持ちを忘れず、一層、精進していきたいと思えます。

看護師（HCU）

射水 美空（2019年4月1日入職）

朝日大学保健医療学部看護学科第2期生

Miku Imizu



新人看護師として4か月が経ちました。私が配属されたHCUは、救急外来にかかられた重症の患者さんや大きな手術直後の患者さんが、毎月、50人前後入室されます。張り詰めた空気の中で、患者さんやご家族の心身の苦痛や負担が少しでも軽減されるよう、暖かな雰囲気をつくることを常に心掛けて業務を行っています。

私は、大学3年次の臨床実習で初めてこの病院のHCUに来ました。その際に、重症の患者さんに笑顔で丁寧に声掛けする看護師を見て「私も、ここで、こんなふうに患者さんに寄り添った看護ができるようになりたい。」と強く思いました。

HCUへの配属が決まったときは嬉しかったのですが、いざ患者さんを前にすると、声掛けにも戸惑うほどで、会話を広げる余裕はありませんでした。患者さんの腕にマンシレットを巻くのにも時間がかかるなど、手技の未熟さ、無力さを実感しました。また、HCUでの看護に必要な疾患や合併症に関する知識も十分ではありません。



しかし、上司、先輩から指導いただき、ペアの看護師、プリセプターさんと一緒に業務を振り返り、改善点を考える日々を送りながら、少しずつですが、できることが増え、成長も実感しています。

これからも、患者さんやご家族、スタッフとの信頼関係を築くことを一番に心掛けながら、知識・技術を確実に1つずつ身に付けていきたいと思っています。

そして、患者さんやご家族に安心していただけるよう、まず自分自身が心にゆとりをもつことで、「寄り添った看護」を提供できるよう頑張っていきます。



同期の仲間と

地域の皆さま、患者さん・ご家族、かかりつけの先生方へ ～「患者サポートセンター」のご紹介～

副病院長
患者サポートセンター長 八木 信明



少子高齢化が進む本邦において、地域包括ケアシステムの構築が急務ですが、これまで当院では、医療福祉相談室・入退院窓口・地域医療連携室が別々に機能していました。そこで、患者さんやご家族が安心安全に医療を受けられるように多職種が連携し、通院・入院・退院後も含めた支援を行っていくよう、「患者サポートセンター」を開設いたしました。

当センターは、①医療福祉相談、②入退院支援、③地域連携の3つの部署からなり、これらが一体となり多職種で連携しながら、患者家族をサポートしていく機能を有していきます。センター長(小職)、副センター長(寺島裕貴副看護部長)、実務統括者(梅田康子看護師長)のもと、看護師2名、事務職員2名、医療ソーシャルワーカー6名(社会福祉士4名)及び医療メディエーター2名により構成され、各科の医師、薬剤師、事務職員が協力するシステムをとっています。

患者相談：医療福祉相談室

患者さんが安心して治療を受けられるよう、疾病、治療、介護・医療費等に関するご相談に各専門職が対応いたします。

入退院支援：入退院支援室

入院される患者さんと面談を行い必要なこととお聞きしながら、安心して入院生活を送っていただけるようにご支援いたします。退院後の生活までをみすえて、入退院、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士等にもサポートに加わってもらい、より良い対応ができるようにしています。

地域連携：地域医療連携室

開業医様や地域の医療、福祉介護機関等との連携を図ります。

なお、今までの違いは、各部署に担当責任者を配置し、情報を共有することで、センターとしての機能を高めていることです。

今後はさらに開放型療養病床の運営の見直し(担当看護師や医師の随行など)や、病棟単位ではなく病院内での統一した退院支援の構築を図っていくつもりです。また、地域連携と入退院支援の協力で地域包括ケア病棟への紹介入院、軽症患者さんの受け入れ、嚥下リハビリを取り入れた摂食嚥下障害がある患者さんの受け入れなど新しいシステムにも取り組んでまいります。

当センターが地域かかりつけの先生方や患者さん家族の皆さんのお役に立てるように職員全員で努力してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



欧州放射線治療学会「ESTRO38」で研究成果を発表



4月26日から30日までイタリア・ミラノで開催された欧州放射線治療学会「ESTRO38」に参加し、研究発表を行いました。

この学会は、米国放射線腫瘍学会と並ぶ2大放射線学会の1つであり、世界中の医師や診療放射線技師などが参加して行われます。会場では各国の研究者による最新の研究発表や最先端の医療機器の展示などが行われ、大変な熱気に包まれていました。

放射線治療は、手術、薬物療法（抗がん剤治療）と並ぶがんの3大治療法の1つです。放射線をピンポイントで患部に照射することによりがん細胞の根絶や症状の緩和を図るので、痛みは伴わず体への負担も少ないため、入院でなく外来で治療を受けることができます。機械やコンピュータ技術の発展に伴い放射線治療は急速に進化し、今は高度な理論と技術に基づく安全性のもとで行われており、当院でも、リニ

アック装置（荷電粒子を一直線上で加速させて発生した放射線を当てる治療機器）による様々な放射線治療を行っています。

根治性と整容性の両立においても効果があるため、乳房の一部を切除する乳房温存手術と放射線治療を組み合わせる治療が行われていますが、その際、心臓などに照射される線量の予後の疾患への影響が指摘されています。このため、私は、Intensity Modulated Radiation Therapy (IMRT) という技術を用いることで、心臓線量の低減を目指すための研究を進めてきました。この大きな学会で、その成果発表ができ、放射線治療により、がんて苦しむ人たちの力になりたいという思いを、一層、強くしました。

今後は、深吸気停止下 (DIBH) での放射線治療に関する研究も進め、両技術の効果的な活用により、更に高品質な放射線治療を目指していききたいと思います。



報告者

診療放射線技師（医学物理士）
大野 光生



～看護の日～ 健康推進イベントを実施



5月8日(水)から10日(金)までの3日間「看護の日」にちなみ、恒例の健康推進イベントを実施しました。

院内及び柳ヶ瀬商店街で体成分測定、健康相談・栄養指導、AED体験、認知症チェックなどを行い、358名と大変多くの方にご来場いただきました。有難うございました。

なお、私の所属するHCUは、60～80歳代の患者さんが多く、超急性期が主であるため、発症する前に何かすることはできなかったのか、普段はどのような生活をされているのか知りたいと思い、今

回のイベントに参加しました。20～90歳代までの方と関わらせていただき、「毎年このイベントを楽しみにしているんだよ。」「体成分測定をしに今年も来ました。」など、当院の活動を楽しみにして下さっていた方が多いことを、とても嬉しく感じました。

AED体験をされた20代の方は、「実践できる自信がなかったのですが、正しい心臓マッサージの方法を学ぶことができてよかったです。」と仰っていました。

私たちにとって、様々な方々と健康について一緒に考える貴重な機会となりました。この経験を今後の患者さんとの関わりで活かしていきます。

来年のイベントでも沢山の方とお会いできるのを楽しみにしております。

看護師(HCU) 谷村 実優



丸山洋子看護師が文部科学大臣表彰を受賞



手術室に勤務する丸山洋子看護師が「平成30年度医学教育等関係業務功労者」に選ばれ、3月6日(水)に文部科学省において柴山昌彦文部科学大臣から表彰を受けました。

当院の年間手術件数は約2,400件に上ります。手術の高度化に伴い業務が複雑化する中において、丸山看護師は、豊富な知識と技術をもとに、綿密かつ丁寧な準備を行うこと、また、常に最善の行動を実践することで、当院の手術が安全に、患者さんに



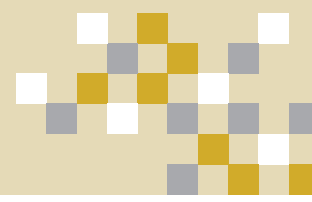
とってより負担なく行われるよう、尽力されています。このような仕事ぶりや人柄に対する周囲の信頼は厚く、他職種との連携においても高いメンバーシップを発揮されています。これら長年の功労が顕著であると評価され、今回の荣誉に至りました。

丸山看護師からは、受賞の報告とともに「皆で仕事をしているので個人でなく部署や病院全体に対する表彰だと思います。沢山の事に御礼を言いたいです。」との謝意が述べられました。

当院の医療を支えるご尽力に感謝するとともに、ますますのご活躍を願っています。

看護部長 田垣 春美





春季消防訓練を実施



5月22日(水)に春季消防訓練を実施しました。今回の訓練は「震度7強の大規模地震と病棟火災の同時発生」という状況設定で実施し、サイレンや大声が飛び交う緊迫した雰囲気の中、約150人の職員が、消火器や消火栓による消火活動、患者さんの避難・誘導、負傷者の救護、重要物品の持ち出し、ライフラインや医療機器の異常の有無のチェックなどの訓練に当たりました。

なお、当院の消防訓練は、通常のシナリオタイプでなく、火災発生場所や避難場所などを事前に知らせない、ブラインド型といわれる実践形式で実施しています。慌てる様子などもみられましたが、各部署のリーダーの指示のもと各々が役割を果たし、地震火災発生から約20分後に避難を完了することができました。立会指導を頂いた岐阜中消防署の職員からは、「難度の高い訓練方法であったが概ね良好に進んでいた。」との講評をいただきました。

岐阜県の発表(2013年2月)では、南海トラフ巨大地震及び4つの内陸直下型地震(関ヶ原-養老断層系地震、阿寺断層系地震、跡津川断層地震、高山・大原断層帯地震)の危険性を指摘し、岐阜市では震度5強から6強程度の揺れがあると予想しています。

災害時に病院は、患者さんや職員の身体、生命の安全を確保し、被害を最小限に食い止め、医療が継続できる体制の維持に努めなければなりません。引き続き、災害への注意と備えを高めていきたいと思います。

管理課 後藤 幸晴



口腔の健康増進イベントを実施



当院は、毎年「歯と口の健康週間」(主催:厚生労働省ほか)に合わせたイベントを行っており、今年は6月3日(月)から7日(金)まで、本館1階ロビーにおいて、朝日大学医科歯科医療センターの歯科医師と歯科衛生士による歯科無料相談や口腔の健康増進活動を実施しました。

今回のメインテーマは「鼻呼吸の促進」です。最近、鼻で呼吸をせずに、無意識に口を開けていたり口呼吸をしている人が増加しています。しかし、口呼吸では口の中や喉が乾燥するうえ、ウイルスなどを直接取り込んでしまうことで、歯周病や風邪、アレルギー疾患にかかる可能性が高くなります。また、歯並びへの悪影響なども指摘されています。

その原因の一つとして、口を閉じる力が弱いことが挙げられ、この力を強化することで、自然に口を閉じて、鼻呼吸をするようになると考えられています。

このため、今回のイベントでは、口を閉じる力を測ったり、いくつかのトレーニングをご紹介します、実際に体験していただきました。

なお、いつでもどこでも簡単にできるトレーニングを一つご紹介します。美容効果も期待できると言われていますので、ぜひ、お試しください。

あいうべ体操

「あー・いー・うー・べー」と大きく口を動かします。これを30回ほど(無理のない範囲で)繰り返します。実際に声を出す必要はありません。

医事一課 鈴木 総一郎



口唇閉鎖力(唇を閉じる力)の測定の様子

アンケート調査を行いました

医事一課 小林 小恵子

当センターは開設後25年が経ちました。地域の皆様を始め、県外からも多くの方にご利用いただいております。誠に有難うございます。

今回は、2018年10月15日(月)から27日(土)までの2週間、受診者様442名にご協力いただき実施した、職員の対応や検査の待ち時間などに関するアンケート調査の結果をご紹介します。

この期間の受診者様は男性57%、女性43%で、40歳代、50歳代の方に多く受診いただきました。

職員の対応については「非常に良い」が53%、「良い」が43%と高い評価をいただき、医師面談の時間、内容についても「良かった」とのお声をいただいております。一方、「前回の受診時に回答した一部の質問項目について、引用して欲しい」とのご要望をいただきましたので、対応させていただきました。

頂戴した貴重なご意見をもとに、今後も皆様が安心して、より快適に健診を受けていただけるよう、スタッフ一同努めてまいります。

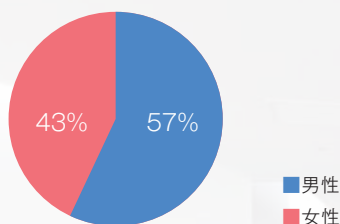
また、ご希望の多い上部消化管内視鏡検査については、新しい

機器を増やすなど体制を整え、実施件数を増やしております。最新の経鼻内視鏡では画像強調観察が可能となり、微細な粘膜異常の発見に役立っています。

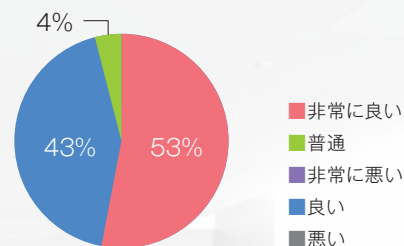
今後もニーズにお応えし、皆様の健康保持・増進につながるよう運営してまいります。当センターを是非ご利用いただけますようよろしくお願いいたします。



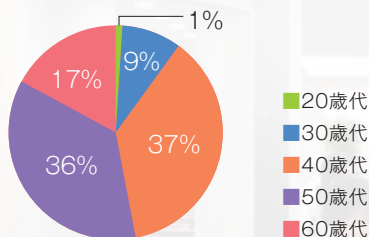
性別



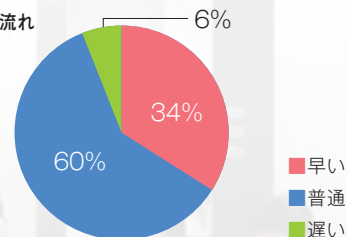
職員の対応



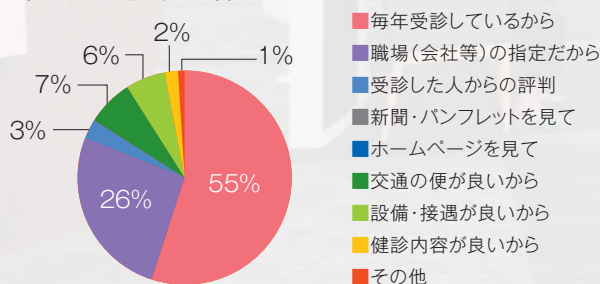
年齢



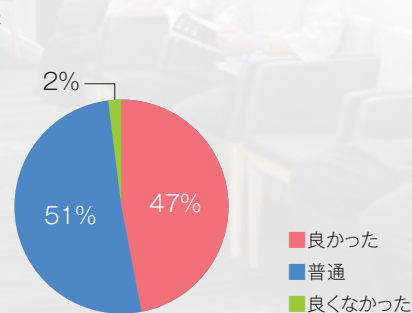
検査の待ち時間・流れ



当センターを選ばれた理由



医師の面談内容



医 食 同 源

NO.17

葉酸で脳イキイキに
なりましょう！

健康でエネルギーに生活するためには食事が大切です。健康長寿のためのスーパービタミンは葉酸です。身近な野菜(緑黄野菜など)で動脈硬化や認知症のリスクを減らしましょう。(葉酸の目安400μg/日)



豚肉と野菜の春巻き
(巻いたらすぐに揚げる)

〈材料 1人分〉 葉酸72μg
(292kcal、塩分1.5g)

春巻きの皮……2枚 キャベツ……50g
ピーマン……20g パプリカ……10g
豚ももスライス・50g 片栗粉・大さじ0.5
下味 [鶏がら顆粒だし・3g 砂糖・ごま油・少々]
しょうゆ・酒・小さじ1 塩・こしょう・少々
水……大さじ1 揚げ油……適量
ケチャップ……大さじ0.5 がらし……少々

【作り方】

1. キャベツ、ピーマン、パプリカは5mm幅に切る。
2. 豚肉は食べやすく切って下味をつける。
3. 豚肉と野菜をごま油で炒め、あら熱を取った後、片栗粉を入れて混ぜる。
4. 春巻きの皮で包み、巻き終わりに水を塗って閉じる
5. フライパンに揚げ油を深さ2cmまで入れて170℃できつね色になるまで揚げる。
6. ケチャップ・からしを添える。

豆乳&枝豆&きな粉
フレッシュジュース

〈材料 1人分〉 葉酸145μg
(120kcal、塩分0g)

豆乳 ……………120ml
枝豆(塩茹でしたもの)……40g
きな粉 …………… 小さじ1
水 …………… 80ml

【作り方】

1. ミキサーにすべての材料を入れてなめらかになるまで攪拌する。



ブロッコリーの
ヨーグルトサラダ

〈材料 1人分〉 葉酸136μg
(140kcal、塩分0.4g)

ブロッコリー……60g ゆで卵 ……1/2個
玉ねぎ ……30g ミニトマト……3個
A [プレーンヨーグルト……大さじ1]
[マヨネーズ ……大さじ1/2]

塩・こしょう……少々
クルミ(荒切り)

【作り方】

1. ブロッコリーを塩少々でゆでた後、ざるに上げて冷ます。
2. 玉ねぎをくし形切りにし、電子レンジ(600W)で1分間加熱する。
3. 器にブロッコリー、玉ねぎ、トマト、ゆで卵を盛る。
4. Aを混ぜ合わせクルミを散らす。

INFORMATION 糖尿病教室のご案内

糖尿病と上手に付き合っていくうえで、糖尿病のことをよく知ることとはとても大切なことです。

知る機会をつくるために当院の糖尿病・内分泌内科及び栄養管理室では、糖尿病教室を開催しています。糖尿病にまつわる様々なことを、糖尿病専門医や糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師、管理栄養士が、いろいろな角度からわかりやすくお話しします。

患者さんのみならず、糖尿病が気になる方、ご家族やご友人に患者さんがいらっしゃる方など、どなたでもお気軽にご参加いただけますので、是非お越しください。参加費は無料で、予約も必要ありません。

予約不要

無料



〈朝日大学病院 糖尿病教室〉

日時：毎週火曜日 午後1時30分から(30分程度)

場所：朝日大学病院本館1階 西側待合ホール

内容：主に下記のテーマで、約2か月間に渡ってお話します。

- 糖尿病ってどんな病気？ ● 食事と運動療法 ● 糖尿病の合併症って？
- 足、見たことありますか？ ● 良い食事、悪い食事？
- ご飯は敵？果物は敵？ ● 熱があるので薬は止めるべき？
- 薬は新薬のほうが良い？ ※内容については随時変更しています

備考 ①講師と内容などの詳細は、毎月、院内掲示によりご案内します。
②事情により中止となる場合があります。

診療医のご案内 2019年8月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	土
消化器内科	初診	尾松	八木	八木(1・3・5週) 坂元(2・4週)	向井	北江 (非常勤)	担当医
	1診	小島	大洞	小島	中畑	福田	—
	2診	八木	林	尾松	坂元	向井	—
循環器内科	1診	瀬川	藤井 (非常勤)	瀬川	瀬川(1・3・5週) 伏屋(2・4週)	次田	土井 (心臓血管外科) (月1回不定期)
	2診	田中(新)	伏屋	田中(新)	渡辺 (非常勤2・4週)	瀬川	担当医
腎臓内科		大橋(宏)	大野	大橋(宏)	操	大野	大橋(宏)
総合内科		大橋(宏)	大野	大橋(宏)	操	大野	大橋(宏)
糖尿病・内分泌内科	1診	佐々木(昭)	武田	梶浦	杉本	杉本	武田
	2診	杉本/梶浦	杉本	佐々木(昭)	佐々木(昭)/梶浦	武田	佐々木(昭)
呼吸器内科		豊吉	舟口	柳瀬 (非常勤)	舟口	豊吉	豊吉 (初診対応)
外科	1診	久米	市川	久米	太和田	太和田	担当医
	2診	操	—	—	—	市川	—
乳腺外科	1診	川口	川口	川口	川口	川口 (2・4週目)	担当医 (予約診のみ)
	2診	—	—	—	中神 (非常勤)	—	—
婦人科		藤本/川島(英)	川島(英)	川島(英)	藤本/川島(英)	藤本/川島(英)	藤本 (不定期)
脳神経外科	1診	石澤	郭	岡	石澤	担当医	郭
	2診	岡	佐々木(望)	加納	佐々木(望)	—	加納
整形外科・リウマチ科	初診	河合/足立	川島(至)	塚田/山賀 (2・4週)	青芝	前田	担当医
	予約診	—	塚田	前田	河合	大友	今泉 (第1週)
	予約診	青芝	今泉	日下	川島(至)	日下	日下 (第2週)
	予約診	—	—	足立	塚原	今泉	塚原 (第2週)
	予約診	—	—	—	—	中島(洋) (午後) (リウマチ科)	—
眼科	初診	佐本	佐本	佐本	—	佐本	—
	予約診	—	—	矢田	矢田	矢田	—
泌尿器科		江原	土屋 (非常勤)	江原	江原	江原	—
放射線治療科	予約診	田中(修)	—	田中(修)	牧田 (非常勤)	田中(修)	—
歯科・歯科口腔外科	初診医	村松	松原	中島(昌)	齋藤	鵜飼	担当医
	初診医	江原	高橋	江原	高橋	松原	担当医
	初診医	大橋(静)	大橋(静)	鵜飼	大橋(静)	大橋(静)	—

ご案内

- 診療受付時間は、全科8:00～11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)
- 年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。



ASAHI UNIV

朝日大学病院

[病院機能評価認定病院] [人間ドック・健診機能評価施設]

〒500-8523 岐阜市橋本町3丁目23番地 TEL:058-253-8001(代) FAX:058-253-5165(総合受付)
ホームページアドレス <http://www.hosp.asahi-u.ac.jp>